

会員リレーコーナー

しばらくです
どうも



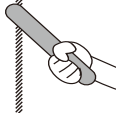
今回登場された会員からバトン
を渡された会員の皆さんは次回の
掲載になりますのでよろしくお願
いいたします。

東北電友会会報 編集委員会
※氏名の後の（ ）は退職年を示す。



五ッ橋クラブ
松本 善英(平5)

からのバトン



五ッ橋クラブ 松田 忠さんへ

齊藤健さんからバトンをいただき
きました。齊藤さんとは、東北通
産(株)(現資材リンコム)時代、
役員として経営上のご意見・ご指
導をいただき、更に、釣りクラブ
結成時には声をかけていただき、

今では釣り仲間として船に乗って
います。

入社以来、データ通信を専門と
してきましたが、東北総支社設備
企画部に移った時、データ部門が
分離独立し、戻るハシゴを外され
てしまいました。その後、45歳で
早期リタイアし、東北通信建設(現
T T K)、東北通産でお世話にな
り、63歳で完全フリーとなりました。

現在は60坪弱の畑での農業(家
庭菜園)と海での漁業(船釣り)
を満喫しており、その中から自分
なりのこだわりを紹介したいと
思います。

農業では、多品種少量をモット
ーに、できるだけ種から育てよう
と思ひ、温室がないため春3月に
トマト・ピーマン・シシトウ・ナ

ス等の種をポットに蒔き、日当た
りの良い縁側におきます。生活が
かかっているないので、芽が出ない
時は、DIY店から買えば良い(農
家の方、ごめんなさい)と気楽に
考えております。その他の野菜は
気温地温の上昇にあわせ、直蒔き
をします。

ヤーコンは越冬が難しく、今ま
で発泡スチール、もみ殻等試して
きましたが、全て失敗し、やっと
たどりついた方法は、畑の中に穴
を掘り、種芋部分を落ち葉で包み
土をかぶせ春を待つ方法でした。

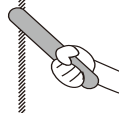
鮮度の良い物を食べることがで
きる、という贅沢なことは、漁業
においても、釣り人ならではの特
権をご紹介します。スーパード
では見ることでできないカレー・
アイナメ・メバル・ソイ等の新鮮
な刺身を食べることが出来ます。
中でも一番の絶品は、ドンコ(エ
ゾアイナメ)のナメロウです。

さて、つぎのバトンは、インテ
リジェントコスモス構想において、
R&I会社設立にあたり、お世話
になった松田忠さんをお願いしま
す。



石巻電友会
梶谷浩一郎(平24)

からのバトン



五ッ橋クラブ 高橋 正典さんへ

バトンを頂いた佐藤辰也さん
は東北支社設備部や岩手支店、T
TKと長らくご指導をいただきました。
私は昭和50年入社で仙台電
話局市外線路課に配属されました。
業務は県間や各放送局までの同軸
ケーブル等の保守でした。入社4
年目に宮城沖地震が発生しました。
復旧支援班として来て頂いた東北
電気通信工事事務所の若き技術者
達の統率のとれた仕事を目の当た
りにし感動!「この職場で働きた
い」と転勤を希望しました。翌年
から工事事務所勤務となり、下北
半島むつ現場の撤収が最初の仕事
でした。光やPECの商用試験を
含めた直営工事に5年間携わり仙
台、気仙沼、盛岡、いわき、青森
蟹田等で建設工事を経験しました。
事務所では東北管内から集まった

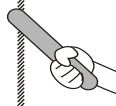
強烈な個性を持つ先輩方に昼夜を問わず心身ともに鍛えられました。その後は設備系を主体に様々な業務に携わりましたが、その中でも営業・法人営業に身を置いた9年間は大変貴重な経験となりました。60歳で会社を退き親の介護に専念しました。同時に、それまで趣味で行っていたブルーベリーや梅などの果樹栽培と養蜂を本格的に取り組みました。東京農工大で開催される日本ブルーベリー協会の研究発表会や岩手大（滝沢農場）での講習会などにも参加し栽培技術を学びました。東京農工大はNTTラーニング勤務時の府中寮の近所なので懐かしく思いながら足を運びました。販売先を2店舗でスタートしましたが、昨年からは松島市の直売店1カ所に縮小しました。当初から販売は69歳までと決めていたのであと2年で収束する予定です。地元行政の仕事もあり忙しい毎日ですが、趣味で始めた楽器ウインドシンセサイザー(EWI)やギターが全く上達しないのもっと根気強く練習して上手くなりたいと思います。ま

た、バイクにももうしばらくは乗り続けたいので体力作りが目下の課題です。私からのリレーは五ツ橋クラブの高橋正典さんにお願ひ致します。高校からの長〜い付き合い合いでお世話になっております。マーちゃんよろしく！



福島地区電友会
鈴木 敏和(平28)

からのバトン



自河地区電友会 山田 道夫さんへ

田島支店で大変お世話になりました、黒川幸正さんよりバトンを受けました。

広域自動ダイヤル化が進んでいる頃、昭和45年郡山電報電話局試験課に採用され、その後福島通信部、田島、会津若松、郡山、福島大町、福島花園、福島LMC、石川、郡山LMC、福島花園で仕事をしました。

仕事内容は故障受付から交換機

の保守、伝送無線の保守、お客様部門の企画からLMCの所外業務お客様窓口対応と色々な経験をしました。田島支店では「夏が来れば思い出す 遙かな尾瀬 遠い空」の尾瀬夏山に無線機による臨時公衆電話を国立公園の入り口御池と尾瀬沼と尾瀬ヶ原へ電話を設置し利用して頂きました。時々電波状態が不安定になると電話が使えなくなる、すると檜枝岐村から連絡が入って来たら、故障の確認で現場へ駆けつけた頃には自然回復している事が多かった。連絡が入るたび尾瀬公園内を歩いたことで足腰も鍛えられ、東北で一番高い山燧ヶ岳ひうちがたけへ子どもと一緒に登山が出来たこと、黒川さん夫婦とも尾瀬一周して美しい花と景色を楽しんだことも思い出します。

また、113番担当の時は応答率、完了率が東日本管内で悪かったことで、本社からの指導を頂き担当内の方々と一緒に改善検討しチームワーキング体制に取り組み目標達成が出来、他支店へも広められたことで、社長表彰を担当代表で受けたことも良い思い出です。

退職後は福島地区電友会の常任幹事4年間と現在は副会長として4年目の活動をしています。地球環境活動の一環として食用廃油の回収活動やNTT無人交換所の除草作業を年2回実施するなど地道な活動を行っています。

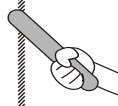
また、電友会仲間の熊坂ぶどう園で巨峰とシャインマスカット作りを手伝っています。体が動く限り頑張ります。

次のバトンは田島支店の社宅で大変お世話になった山田道夫さんをお願いします。



電友吾妻会
伊藤 邦子(平9)

からのバトン



福島地区電友会 菊田 秀雄さんへ

いわきの西尾秀子さんからバトンを頂きました。30年余り前が私がいわきから転出して以来の声の便りでした。彼女はグラウンドゴ

ルフの名手で県の退職者の大会では優勝もしくはそれに準ずる成績を毎回残す程の腕前です。約30年お会いすることはありませんでした。同じ年齢だったと記憶しておられます。お互い年を重ねましたが、電話での声も話し方も全く変わらなないのでタイムラグは感じることなく懐かしさがこみあげ楽しくお話ができました。

初めていわきに赴任し戸惑うことが多く中、皆様に助けて頂き親切に接して頂いたことは語り尽くせない程あり、有難い事だと思っております。

職場は富岡局がいわき局に集約になり富岡局の人達は富岡駅から平駅間の電車通勤を余儀なくされ通勤に時間を要するようになりました。その頃「新エンジェル」が導入され職場全体が戸惑いの毎日でした。

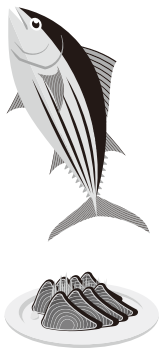
そんな中でも「嬉しかったこと」「楽しかったこと」「うまかったこと」等いっぱい思い出します。特に刺身は「まぐろ」に限る、と思いついていた私はどこへ行って「まぐろ」は出されず「カツオ」

ばかり。それがすごくうまい。「まぐろ」以外にもおいしい刺身があることを知りました。

ある方から「昨夜作ったの」とサンマのミリン干しを頂いたことがある。その心意気も加えてうまかったこと、有難かったことは忘れない。ミリン干しって作れるんだ、と思いついて以来時々挑戦するがあれ程うまいものは出来ない。今回、西尾さんからのバトンを頂き思い起こすことがいっぱい楽しかったです。

現在私は里山登山に参加しておりますが最近では途中でリタイヤしたり不参加だったり体力と気力の衰えが否めません。残念なことが多くなりました。そんな中でもパークゴルフには出かけます。体力の範囲内で河川敷のパークゴルフ場でプレーしています。

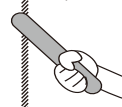
次のバトンはいわきで隣の席だった、現在は福島地区電友会の菊田秀雄さんにお渡します。



村山クラブ
齋藤 友晴(平30)

からのバトン

霞城クラブ
武田 喜晴さんへ



米沢、山形支店で大変お世話になり、今でも私の栽培している果物をご購入頂いている屋代良子さんからのバトンを受け米沢時代を思い出しております。

夜遅くまで事業計画や販売成果の資料を作ったり、仕事後は近くの飲み屋へもよく行きました。仕事以外でも支店長と米沢から高畠の安久津八幡神社まで歩き、帰りはヘトヘトになったものの良い経験をした事や米沢から新潟の坂町駅まで米坂線沿いを2泊3で、日沼進さん加藤正明さん阿部博さんと歩いた時、小国のトンネルではさまじい音が鳴り響き、足の裏はマメだらけで大変な思いをしましたが、満足感や達成感もあり、今でも国道113号線を通るたびに、ここで休憩したっけな、ここ


は辛かったなと30年経った今でも鮮明に覚えています。

退職後は果樹栽培に励んでいます。面積は160a、樹の本数は200本以上あるでしょうか。冬は剪定、春は芽かき、摘果等盛沢山の作業があり、収穫は6月にさくらんぼ、7月からは桃、すもも、ラフランス、りんご等、雪が降るまで続き1年が終わります。一人では出来ずOBの方や近くの方々からお手伝いを頂きながらなんとかやっております。

農家は想像以上の肉体労働で、苦勞も絶えません。がやってみると奥の深さにはまりません。順調と思っても天候に左右され、一昨年は収穫直前の台風でラフランスの3割以上が落下し、昨年はさくらんぼ収穫前からの高温続きで「障害果」が大量発生し豊作予想から大凶作となったりですが、お客様にご迷惑をかけることはありませんでした。

地球温暖化の影響を常に肌で感じながら、これからどうなるのだろうかと心配もありますが、もう少しだけ頑張ってみようと思ってい

る今日この頃です。
 次のバトンは、今も朝早くからテニスで汗を流している電友会霞城クラブの大先輩、武田喜晴さん
 にお願ひします。



村山クラブ
細谷千加子(平20)
 からのバトン

大崎クラブ
村上 智世子さんへ

工藤さんとは山形支店116集約による受付業務研修で初めてお目にかかりました。初日の受付で丁寧な優しい言葉遣い、かつ的確な提案で、機器、NW商品の受注までスピーディーにこなす対応に当時の上司も「すごいな!!」としっかりと感心していたのが工藤さんでした。残念ながら私の転勤の為に一緒にの仕事はほとんどありませんでしたが、その後、グループ会社の業務では思いがけず大変お世話になりました。

さて私の近況は、小学校・保育園の「読み聞かせ」や地域の「赤十字活動」等に声かけをいただき参加、現在も続けています。「読み聞かせ」では、本選びの段階から緊張しますが、子ども達が目を輝やかせて話に聞き入ってくれる時は、本当に嬉しく楽しい時間です。また卒業時には、個々の感想等、手作りの「お礼のお手紙」をいただき、私の宝物のひとつになっています。


我が家では、農作物に愛情深い主人作の「美味しい果物、新鮮な野菜」に「いつもご馳走様」の毎日で、これも大事な宝物です。併



赤十字奉仕団、ふるさと祭りに参加 後列左から3人目

せて私の宝物は「月下美人」。昨年も沢山の蕾をつけ、7月から順次開花し楽しませてもらいました。毎年、鉢の成長と開花を楽しみに健康第一で過ごしたいと思うこの頃です。

さて次のバトンは、宮城の古川支店でお世話になり、いつも笑顔で元氣一杯、電友会大崎クラブの村上智世子さんにお願ひします。



秋田支部
齋藤 和雄(平21)
 からのバトン

弘前地区電友会 三上 定勝さんへ

TE秋田時代一緒だった圓子文康さんからバトンの指名を頂きました。突然の電話と久しぶりの声を聞き、当時のTE秋田を懐かしく思い出され大変嬉しく思いました。

私は平成21年、61歳で退職し早や15年を経過しました。退職当時、

毎日日曜日の日々をどうするか不安の中、先輩や同僚などから、まだ60歳台なんだからボケ防止のためにも何か運動することを強く勧められた。

しかし、特段の「趣味らしきもの」もない中で、自分にとって唯一趣味といってもよいのが、平成元年に40歳から始めたゴルフ。なかなか上手くならないのが悩みで、いつも不完全燃焼のゴルフをしていた。それでも現役時は月数回のラウンドが楽しい運動となっていた。

平成14年頃に知り合ったゴルフ仲間『チームみや川』のメンバーは、職業が地方公務員や会社員、自営業等様々で、その方達と月1回のゴルフコンペに参加したり、NITTOB会、ゴルフコンペ(毎月)にも参加しました。他にも、ゴルフコンペで知り合い意気投合した『チームこぶし』のメンバー(会社員)とは月1回のゴルフコンペにも参加し、更に年数回の同級生とのゴルフ等々へ積極的に参加する等ゴルフ三昧の日々を過ごした。一番の思い出は『チームみや

川』で毎年2月に真冬の秋田から伊豆や千葉房総への「早春ゴルフツアー」です。このゴルフツアーは10年間続き雪国の秋田から団体専用列車による車中二泊（金曜夜出発し土曜日にプレーしその日の夜、団体専用列車に乗り日曜朝戻る。車中二日間の宴会付）の弾丸ゴルフツアーに参加したこと。特に平成28年の「早春の伊豆ゴルフツアー」では、JR伊東駅からバスでゴルフ場へ移動中、運転手さんの勘違いからか毎年日本女子プロの舞台となっている川奈ホテルゴルフ場の前を通

ったことです。玄関前の駐車場は高級外車がずらり、テレビでしか見たことのない「川奈ホテルゴルフ場」を見て車内からは、「おおお：川奈だ」の歓声があがった。運転手さんに感謝、感謝です。私にとって強烈に心に残る早春ゴルフツアーとなりました。

ちなみに、その日の我々がプレーしたゴルフ場は近くのサザンクロスカントリークラブでした。

平成21年の退職から約10年は「健康のため運動は老化を防ぐ薬。

継続は力」と信じて月数回のゴルフは楽しく、新たなゴルフ仲間も増えていった。

しかし、令和元年古希を過ぎた頃に心臓の大病を患い、令和2年には数年前から歩行時における足のしびれに悩んできたが、病院の検査結果を踏まえ思い切って手術を行った。

術後は屋外での移動は、車か自転車を使用するため、生活に支障が無いほどまで回復したが、術後数年経過した最近また以前同様、長い距離の歩行時に腰の違和感が出てきた。今は完治が望めなくとも、薬でしびれも和らいでおり、良しと思うようになった。

ここ数年は整形外科や眼科などの診察券や薬も増えつつあるが、今は病院通いと月1度のゴルフはリハビリと捉え楽しんでる。

次のバトンは八戸時代「あらけい」施策などで苦楽を共にした弘前地区電友会の三上定勝さんへお願いします。



仙台紙工の「プラス思考」で、あなたの「思い」をもっと豊かに

1 Creative

- デザイン
- コピーライティング
- CM等の企画・制作
- 商品開発ほか

2 Digital Content

- WEBサイト
- インターネット広告
- AR
- 動画

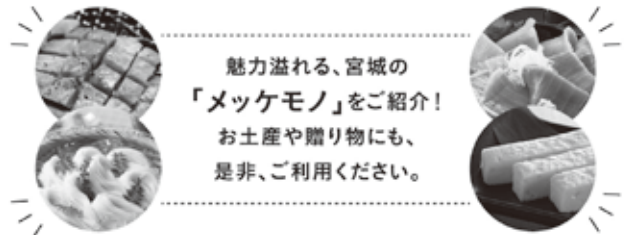
3 Sales Promotion

- ポスター・チラシ・DM
- パンフレット・カタログ
- 折込・ポストティング
- イベント企画・運営ほか

4 Marketing

- 市場調査
- 分析

産直ストア
メッケモノミヤギ



魅力溢れる、宮城の「メッケモノ」をご紹介します！お土産や贈り物にも、是非、ご利用ください。

オリジナルサイト



Yahoo! ショッピング



メッケモノミヤギ

検索

クリエイティブ デジタルコンテンツ セールスプロモーション マーケティング
株式会社 **仙台紙工印刷**

〒983-0036 仙台市宮城野区苦竹3丁目1-14

Office TEL(022)231-2245(代) FAX(022)231-2247
Design TEL(022)231-2251 FAX(022)231-2252

<https://www.sendai-shiko.jp>

<http://fb.com/sendai-shiko>

info@sendai-shiko.jp

会友コーナー

文芸

俳句

川柳

短歌

詩

随想

文芸



短歌

仙南OB会

大庭美智子

食べたしと願いて植えし柚子の苗
食べられる日はくるか歳かぞふ

紅葉するもちぶた館の食べてよし
会話も楽し気も晴ればれと

ポレペイの癡掘進む復元よ
命あるうちこの目で見たし

俳句

五ッ橋クラブ

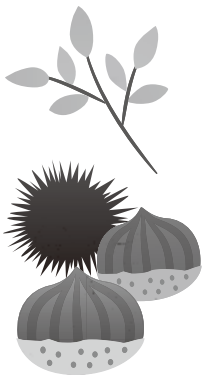
山ボーイ

この年も暮れて一輪返り花

仙南OB会

大庭美智子

炊きたてや友より届く粟ご飯
庭の萩道辺のすすきで月見かな
門口に夏の終りや蟬骸



福島地区電友会

関戸 武

鰯雲ひとりで入る喫茶店
指差してゐて見失ふ雪螢
初雀日溜まり庭に集まりし

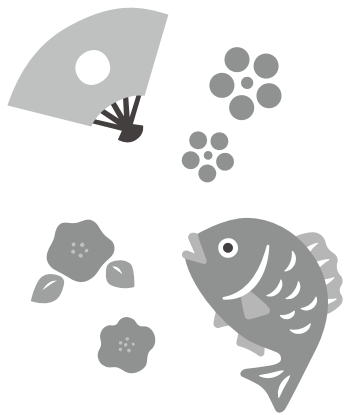
弘前地区電友会

倉谷 景子

暮れ早し当てにされなき身の軽さ
煤逃げや「芝浜」流るカーラジオ
湯気あがる力士の背中淑氣満つ

※煤逃げ……冬の季語 家の掃除から
逃れ外出すること

※淑氣満つ……新年の季語 新春の目出
度い気分が満ちている



弘前地区電友会

菊池 つる

綿雲の吸はれる如く夏の空

※95号の発行後、地区事務局のミスにより誤字が判明したため、正しい文字で再掲載しました。

×誤↓錦雲 ○正↓綿雲

秋田支部

田中由紀子

外は雪初鑑賞の能舞台
老の春羽衣の舞いゆっくりと
余寒なお故郷に舞う能楽師

川柳

仙南OB会

大庭美智子

曾孫や血が血をよぶかこの笑顔
ハイ&ローテレビといっしょに解答す
気象にも新語つぎつぎついていけぬ

福島地区電友会

高橋 敬一

梅雨空にカッコウの声も湿りがち
ひまわりの実入り見に来る雀たち
夫婦してよっこいしょの声が増え

弘前地区電友会

ゆきやなぎ

朝が来る平和と自由ばびぶべほ
恋の歌たまに歌ってらりるれる
この先も何か探してなにぬねの

秋田支部

柏谷 武

馬合うか電話とメール同じ人
上司でも「言語道断」許されぬ
日記帳句を調べる里の秋

◎投稿は紙面の都合上、一人3句までとさせていただきます。多数投稿されている場合は勝手ながら編集担当で選定いたします。

会友コーナー作品募集

会報編集委員会では会員の皆様からの原稿を募集しております。

- 短歌・俳句・川柳など ○随想・旅行の思い出など
〈お一人3首(句)以内〉 〈1,200字以内/年1回掲載※〉

※ただし、投稿数が多い場合は次号に持越しとさせていただく場合があります。

【お問合せ・連絡先】

電友会東北地方本部

▶電話(022)212-1443 ▶FAX(022)212-1444

▶E-mail:keyaki3@denyutohoku.sakura.ne.jp

随想



雲の流れに…



石巻電友会

和泉 章

日の経つのは早く、季節は姿を変えもう秋、退職してから22年の月日があつという間に過ぎた。80代の坂を上り始め2年、最近パソコンに向かっていると目が疲れやすく、これも白内障のせいなのかそれとも歳のせいなのかひとり苦笑いをする事が多く、時には、窓越しに見える澄み切った空に浮かぶ白い雲をぼんやり眺めているのが、目の疲れを取る一番の方法だと思ふようになった。

現役時代共に机を並べた職場の仲間、仕事が終わると誰かの一声で「ちよつと一杯やっていくか」と意気投合し酒を酌み交わした思ひ出、更には遠い国に旅立つて久しい方々の面影が白い雲の流れに合わせるように頭をよぎる。5月のある日のこと偶々電友会のホームページ「お悔やみ情報」を開いた時、仙台

長町時代の局長の訃報が目に入った。思えば昭和57年10月、仙台圏三分割の組織改編により仙台電話局が仙台青葉通、仙台榴ヶ岡、仙台長町の3局に分割され、古川局から仙台長町局への異動を命ぜられた私にとつて長町初代の局長だった。人を思いやる心の温かい局長という印象が今も心の中に残っている。職員一人ひとりが長町初代という意識を持ち一丸となって局作りに力を合わせたあの頃が懐かしい。当時の長町は局舎が完成しておらず、料金部門が仙台青葉通、線路部門は名取に、機械・試験部門は設備の関係から完成を待つ新局舎で、更には営業窓口と共通部門は局舎裏通りのプレハブで分散した形で其々の仕事に就いていた。毎日が忙しかったけれどそれなりに遣り甲斐のある職場だった。

完成した局舎での仕事始めは確か昭和58年の年明け早々だったように記憶している。

3年前に戴いた賀状に、高齢のため年賀状終いをする旨の添え書きがあり変わりにく過ぎざれているものと思つておりました。世の中に「絶対」と言う言葉があるとすれば、それは人がこの世に生まれた限り必ず命尽きる日が来ることだと言います。逃れることのない宿命と解つていても、思いも寄らない訃報に接した時、人の命の儂さを改めて感じ

ないわけにはいきません。共通部門の業務を担う立場から局長に接する機会が多かつた私には、長町での一つひとつの思い出が懐かしく1年半という短い期間でしたが、遠い日の思い出として消え去ることはありません。何気なく見上げる雲の流れに、人生の旅に別れを告げ間もなく半年、遠い国で未知の旅を楽しまれている姿が見えるような気がします。

敬老の日に

電友吾妻会

大塚 美和子

今日は敬老の日。子や孫が「おめでとう」と言つてくれたり、遠くからお祝いの電話や花束が贈られてくるが、何だか申し訳ないような、恥ずかしいような気がする。人間の寿命が延びて「人生百歳時代」となった今、敬老の日に何の役にも立たない私たちが祝つていただいて良いのだろうかと思つたりもする。お陰様で、私達夫婦は揃つて卒寿を過ぎ、結婚してちょうど70年、世間で言うプラチナ婚を迎えることができた。子が3人、孫が5人、曾孫7人の家族となり、「これは誰の子?」「あれはどこの子?」と迷う有様である。

「昭和は遠くなりけり」と言われるが、私達も実に一世紀近くを昭和と共に歩んできて、今となっては、ほぼ遺物になりつつあるのだ。満州事変、日中戦争、そして敗戦となった太平洋戦争を体験して、軍歌を子守の歌と聞きながら軍国少年、少女に育てられたのであるから、敗戦の痛手は大きかった。

敗戦から復興までの道程は、人それぞれであつたろうが、言葉では言い表せない厳しい辛苦の年月であつた。乏しい食糧を分け合い制限される電気に勉強さえまならず、配給の糸で縫う、真に裸足の生活からの出発であつた。それでも幸運に生きてきた。

94年という長い時間の中で、出会った人の数はどれ程になるだろう。支え励ましてくださった有難い絆の人の数を思うと、ただただ頭が下がるばかりである。

敬老の日とは、私たちが自らを省みる日でもあり、感謝する日でもある。と同時にこれから先を生きる若者たち、育ちゆく子供たちの健康と幸福を心から祈る日でもあるのだ。



ゴルフサークル会長を退任して



青森地区電友会 堀川 賢一

ゴルフ歴は50年程ですが、自己流を貫き通し、まったく上達しない下手の横好きです。こんな私が、どうして13年間も会長を続けてきたのか不思議でなりません。

27年前（平成8年）N T Tを退職し再就職（協和エクシオ）先のゴルフ熱に引かれ、これからの人生はゴルフだと決めました。

考えもしなかったゴルフ会員権を購入、N T T O Bゴルフ会に入会し、年間8回のゴルフ会は皆勤を続け、北三県親善ゴルフ大会にも率先して参加し会員同士の親睦を深める等、ゴルフ最優先の生活に180度変容させました。

そんな中、会長をされていた方が体調を崩され、私が会長代理にという話もありました。当時の佐藤勇事務局長（元労組青森県支部委員長）が、私に「会長やれ！」との鶴の一声・命令が下され、会長を引き受けた次第です。

13年前25名の会員が、昨年40名にまで増加しました。月1回の例会（年8回）が盛大に開催でき嬉しい限りです。電友会青森支部・

N T T労組退職者の会県協議会の絶大な協力もあって、ゴルフ会の明るさが以心伝心後輩に伝わり、会員増に結び付いているのかと思っております。

ゴルフは楽しくやる、が私のモットーです。「気持ちよく挨拶をする」、「一日中パートナーとは、声を掛け合う」「優しい気持ちで接する」ことが多くの会員に浸透したのでしょうか？

昨年82歳になる期に辞任の相談したところ、千葉哲泰事務局長が（電友会青森支部長・コンピュータ・カレッジ校長）、気持ちよく引き受けて下さいました。私の残り少ない人生、1年でも長くゴルフを楽しみたい。ゴルフ万歳！

傘寿を迎えて



弘前地区電友会 對馬 靖典

この度は弘前電友会様より傘寿のお祝いの祝詞や記念品を頂き有難うございました。

昭和50年に六ヶ所泊村郵便局自動開式で弘前電報電話局に入社し交換設備機械職を経て平成21年にN T T青森支店で無事退職を迎えました。

その後、東日本大震災の前年に仙台のNTTヒューマンソリューションズ(株)から防災監視員として津軽エリアの局内機械工事の防災監視合業務の仕事に依頼され、現在は東京の特定非営利活動法人アクティブシニア支援機構に所属しております。

この仕事に関わって早や14年になりました。仕事だけではなく業者さんとの交流や人との付き合いなど私の人生にとってプラスになったと感謝しておりますが、傘寿を迎えてそろそろ辞め時かなと思っております。

また地域活動として町内会の役員や市の廃棄物減量等推進員などをしております。今のところ身体の不調もなく元気に無事傘寿を迎えられたのも偏に家族の支えがあったからと心から感謝しています。

これからも健康第一に無理することなく穏やかに過ごしていきたいと思っております。



そして百寿に向かって新たな挑戦



秋田支部 京野 進

この度、米寿のお祝いを頂き、心より感謝申し上げます。

今、私たちの住む環境は年々変化しつつ長寿時代を迎えています。平均寿命を思えば厚労省の資料「簡易生命表」によると私が生を受けた昭和11年(1936)と令和2年を比較すると令和2年は82歳、昭和11年は、40歳半ばとのこと、隔世の感があります。

今日、米寿となった88年間の歩みを紐解いてみますと、童心の幼少期、小・中学校時代の仲間たちとの交流は米寿まで続いている事、また組織の中で紆余曲折を経験し、喜怒哀楽に満ちた社会人時代、退職後における、組織から解放された行動の自由を享受等の追憶が走馬灯の如く連綿とし脳裏に浮かびます。自由な時間の満喫が、健康で日々を過ごせた礎になりました。

生き甲斐の糧として、趣味の山野草栽培(雪割草、日本さくら草約300鉢)、また、伝統こけしの蒐集・鑑賞(蒐集歴61年、蒐集数約5000本)を同好者との交流を楽しみ、また海外旅行(10年間でヨーロッパ・アフリ

カ13ヶ国)で世界の景観・文化を堪能したお陰かと思えます。

体力的にはもう海外旅行、登山、屋外スポーツは無理ですが、現社会では、百歳時代の到来が目前と期待され論じられております。

私も、今後は更に健康寿命の保持に精進し、「百寿」を目標に、全てに前向きな気持ちで人生を邁進して参りますので、末永くお付き合いの程お願い申し上げます。



◆会友コーナーへの投稿について

◎他紙等への二重投稿はご遠慮願います。

◎「随想」への投稿については誌面の都合上左記内容にご協力をお願いいたします。

◎掲載・・・年1回

ただし、投稿数が多い場合は次号に持越しとさせていただきます。

◎字数・・・1200字以内厳守

紙面の都合上、調整させていただく場合がありますのでご了承願います。

◎次回締切り・・・令和7年5月20日厳守



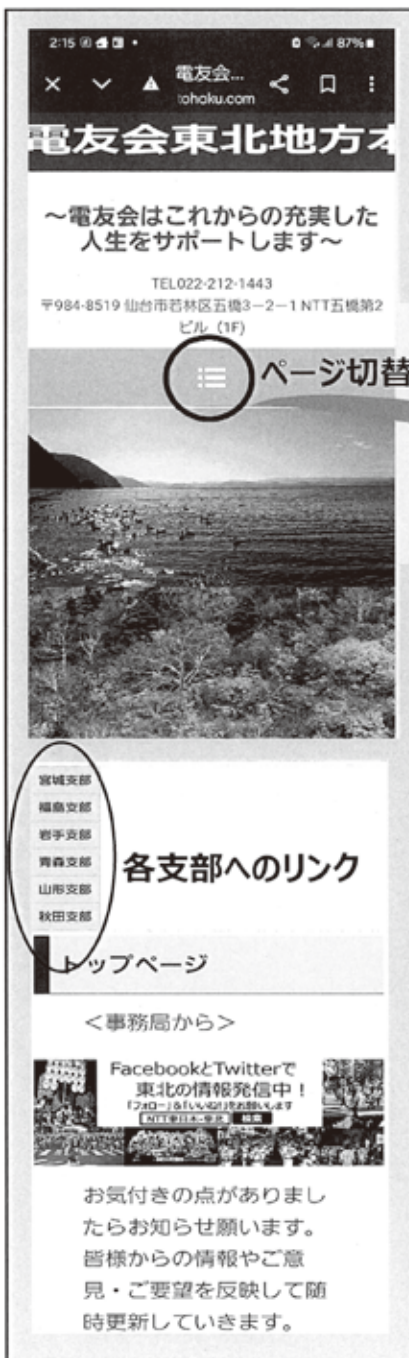
電友会のホームページをスマホから覗いてみよう

次の手順でご覧いただけます



①「電友会東北地方本部」と入力して検索する
またはスマホのカメラでQRコードを読み込むと、トップページが表示されます

<トップページ>



② トップページが表示されるので、画面を上下にスライドさせて閲覧する

ペスワイプして
ページ内を閲覧

③ 他のページを閲覧する場合は、画面上部のページ切替ボタンをタッチし、ページ一覧を表示する

④ ご覧になりたいページをタッチ

<他のページ>

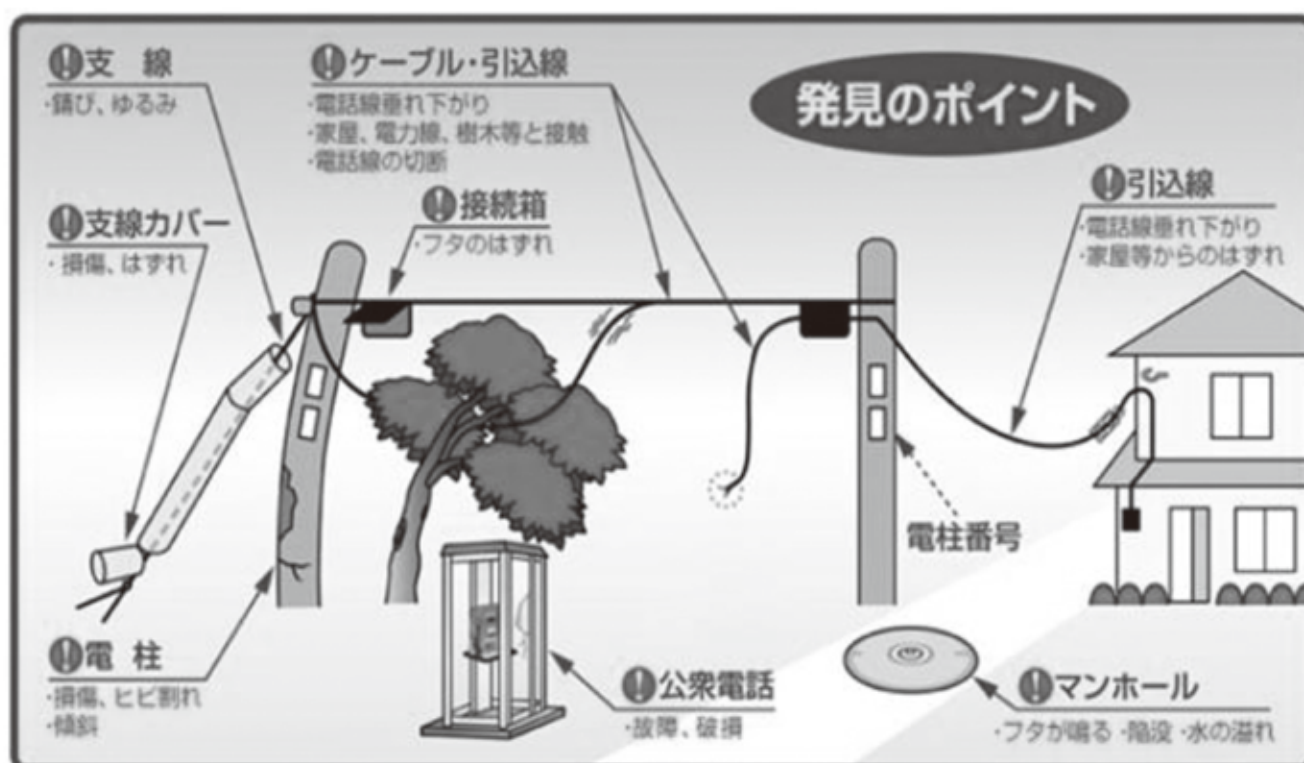


スマホを「横表示」にするとパソコンと同様の操作でご覧いただけます

不安全設備の情報提供にご協力ください

こんな設備を発見したら・・・

- ・ 電話線が垂れ下がっている（切れている）
- ・ 電柱が傾いている
- ・ 公衆電話BOXが破損している
- ・ マンホールのフタが鳴る 等



Web113への情報提供をお願いします！！

Web113下記のURLにアクセス
または「電話線が垂れ下がっている」で検索

https://web113.ntt-east.co.jp/safety_report/

電話線が垂れ下がっている

検索

スマホのカメラでQRコードを読み込むと
トップページが表示されます



NTT東日本からのお知らせ

■長寿お祝いについて（勤続20年以上の退職者対象）

NTT東日本社長からのメッセージを添えた「カタログギフト電報」を贈呈させていただきます。

長寿の種類	贈呈品
喜寿（77歳）	カタログギフト電報 （1万3千円相当）
米寿（88歳）	
白寿（99歳）	

（注：年齢は満年齢でNTT東日本が把握し贈呈しております）

「長寿お祝い」に関するお問合せは・・・

NTT東日本-北海道 企画総務部 社員サービス担当
Tel：011-212-4011

■弔慰金について（勤続20年以上の退職者対象）

NTT東日本から以下のとおり弔慰金を贈呈（口座振込）しています。

本人・・・30,000円

配偶者・・・10,000円

「弔慰金」に関するお問合せは・・・メールでの問合せをお願いいたします。

NTT東日本-東北 企画総務部 社員サービス担当
メール：obrenraku-gm@east.ntt.co.jp
Tel：022-281-8716

★長寿祝い・弔慰金贈呈に関して・・・★

【注1】最終退職会社（転籍等）によっては贈呈の対象外となる場合がありますのであらかじめご了承ください。

【注2】贈呈期限については、長寿祝いは該当年齢の誕生日から弔慰金は死亡の事実が判明した日から、それぞれ2年以内となります。

■ O B ・ O G 交流会について

【メールアドレス等の事前登録のお願い】

ご登録いただいた方へO B ・ O G交流会のご案内をメールにてお送りいたします。

メールアドレスの事前登録にご協力賜りますようお願いいたします。

登録用QRコード

スマートフォンのカメラ
で読み込んでください



【ご登録内容】

- ①氏名
- ②ふりがな
- ③生年月日
- ④ご住所
- ⑤ご連絡先電話番号
- ⑥メールアドレス
- ⑦NTT東日本グループ
退職時の所属会社・役職

※ご登録いただきました個人情報は、O B ・ O G交流会のご案内の目的以外には一切使用いたしません。

※メールアドレス等のご登録が無い方には郵送でご案内をお送りいたします。

【NTT東日本-東北 企画総務部】

災害時の安否情報が、やり取りできるサービス

171

災害用伝言ダイヤル

災害用伝言ダイヤルは、大規模な災害が発生した場合に提供を開始します。

災害時は、全国から被災地への電話がつながりにくくなります。
「災害用伝言ダイヤル 171」は、被災住民の皆様の安否を伝える
声の伝言板です。もしものために、ぜひ覚えておいてください。

毎月1日等、「災害用伝言ダイヤル」を体験できます。

伝言の録音方法

171 をダイヤルする

↓ ガイダンスが流れます

録音の場合 **1** 暗証番号を利用
する録音は **3**

↓ ガイダンスが流れます

連絡を取りたい被災地の方の固定電話番号または
携帯電話・PHS・IP電話の番号をダイヤルする。

0

0

↓ ガイダンスが流れます

プッシュ回線の場合は **1**

ダイヤル回線の場合はダイヤル不要

↓ ガイダンスが流れます

伝言の録音をする(30秒以内)

伝言の再生方法

171 をダイヤルする

↓ ガイダンスが流れます

再生の場合 **2** 暗証番号を利用
する再生は **4**

↓ ガイダンスが流れます

連絡を取りたい被災地の方の固定電話番号または
携帯電話・PHS・IP電話の番号をダイヤルする。

0

0

↓ ガイダンスが流れます

プッシュ回線の場合は **1**

ダイヤル回線の場合はダイヤル不要

↓ ガイダンスが流れます

伝言の録音内容を確認する

【ご利用料金】 NTT東日本・NTT西日本の電話サービスから伝言の録音・再生をする場合の通話料は無料です。他通信事業者の固定電話、携帯電話
やPHSから発信する場合、通話料については各通信事業者にお問い合わせください。なお伝言録音等に伴うサービス利用料は無料です。

インターネットを利用した災害用伝言板(他の災害用伝言サービスと連携可能)

web171
災害用伝言板

<https://www.web171.jp>

または、web171と検索



【「災害用伝言ダイヤル(171)」と「災害用伝言板(web171)」で相互連携が可能となりました。】

【ご利用料金】 災害用伝言板のサービス利用料は無料ですが、インターネット接続費用やプロバイダ利用料
および、ダイヤルアップ接続の場合は通話料等が別途必要となります。

【体験利用期間】 「毎月1日及び15日」・「正月三が日」・「防災週間(8月30日～9月5日)」・「防災とボランティア週間(1月15日～21日)」に
「災害用伝言ダイヤル」を体験できます。(体験利用時もご利用料金は同様です。)

お問い合わせは、局番なしの「116番」へ

(携帯電話・PHS・弊社以外の固定電話からのお問い合わせは「0120-116-000」へ)

◎表紙写真の紹介

シリーズ おらほの自慢

くふるさとの隠れた魅力を再発見

今回は宮城の隠れた自慢です。最初に仙台独自の工芸品「埋もれ木細工」を紹介します。仙台市の亜炭層から約500万年前に地中に埋まった樹木が炭化して化石状になったものを発掘し、この貴重な太古の埋もれ木に細工し、丁寧に仕上げられるのが埋もれ木細工です。全国的にも珍しい伝統の技が魅力です(写真左真ん中)。

写真左上の写真は、仙台市宮城野区にある日本で一番低い山、標高3mの「日和山」です。東日本大震災前は標高6mで全国2番目でしたが、震災時の津波と地震で地盤沈下があり日本で一番低い山となりました。日本一高い富士山と同じ7月1日が山開きです。落石に注意しながら(?) やつと頂上に辿り着くと目前に蒲生干潟の眺望が…。ここは仙台海浜鳥獣保護区に指定されており、鴨や千鳥、鷺など多くの野鳥が飛来し水辺で羽根を休める姿や様々な植物群落が見られます。震災の爪痕を後世に残す役割も持つ山です。

次は明治の初め国民の権利を求めた若者たちの熱き思いをのせた「五日市憲法」を紹介します。これを起草した人物が栗原市出身の

千葉卓三郎です。仙台藩士の子で戊辰戦争に参加。敗戦後流浪の身となり上京。五日市町の勤能学校の二代目校長となった卓三郎の案は、現在の憲法でうたっている主権在民の考えが中心で、民主的で開明的な草案は、他の草案に比べ際立つ内容であり現在の日本国憲法に通ずるものを感じます。折りしもR6年度前半のNHK朝ドラ「寅に翼」は法律に関連する内容でした。憲法を再確認するいい機会かもしれません(写真中央が仙台市資福寺にある記念碑)。

その右下の写真は栗原市にある朝日に輝く「杉薬師瑠璃殿」です。薬師山と呼ばれる小高い丘の参道には杉の大木が茂り、その杉の間から栗駒山を望みながら頂上へ向かうとそこには「杉薬師瑠璃殿」があります。春は杉と桜のコントラストが美しい静かな公園になっています。

左下の写真は、高石地方本部長が松島湾の海の上に立っている貴重な写真です。松島湾には海に立つことが出来る場所が一所ありますが様々な条件をクリアしないと実現しません。この日、この場所、この時間、この天気が揃って初めて撮影できます。撮れば大変ラッキーな写真です。新年号で紹介出来て良かったです。

真ん中下の写真は松島町にある童謡「どんぐりころころ」の歌碑です。作詞者は松島町出身の青木存義あおきのたけよし。大正時代に青木が作った唱歌集「かわいい唱歌」に掲載され、梁田貞がやまだただし曲をつけました。青木は子どもの頃、大変な朝寝坊で母親が自宅庭のナラの樹の傍にあった池にドジョウを放し、興味を持った息子が早起きするように知恵を絞った、という青木の幼少時代の体験を元に作られたと言われています。物語性のあるこの歌詞は、ドジョウが困ったところで終わっていますが、後年昭和61年に作曲家の岩河三郎が合唱曲用として3番の歌詞を作りました。幻の3番の歌詞を紹介して宮城の「おらほの自慢」を終わります。

♪どんぐりころころ 泣いてたら
仲良しこりすが とんできて
落ち葉にくるんで おんぶして
急いでお山に 連れてった♪

どんぐりさんは、ちゃんとお山に帰れたんですね。

(写真提供/電友会宮城支部)



